

2025 年 3 月 9 日
JK1GBE ジィビー

18年乗ってきた250 ccバイク(本田PS250)が立て続きに故障したため、「二度あることは三度ある」は避けたいと110 cc(本田DIO 原付二種の中古車)に乗り換えた。DIOは前のバイクと比べて燃費が2倍くらい(約40 km/l)よいそうなので、5月の電波伝搬実験の日が晴れであればこのバイクで参加しようと、少々早いとその準備をすることにした。今回はモーターホイップの取り付け、無線機の設置などについて紹介する。

まずはアンテナ基台、これはリアボックスを取りつけている金具に車で使用していたハッチバック用アンテナ基台を挟み込んで締め付けた。脱落防止策として結束バンド4本で固定する。(写真#1) 走行時のアンテナは $1/4\lambda$ (約1.3m)を使用、半固定時は $1/2\lambda$ (約2m、写真#3)に差し替えて使用する。安全運転のため、走行時はワッチのみとし、QSOは半固定で運用する。

次に無線機の設置、リグはFT-817NDをメインにして、IC7300もリアボックスに積み込む。817と外部バッテリーは登山用の防水ポシェットに入れて風防の金具からぶら下げる。(写真#2) 前のバイクではFT857のリモートパネルをハンドルバーに固定していたが振動により液晶などに不具合が発生したことがあり、今回はしっかり固定せずにぶら下げる方法を採用した。このほうがバイクから離れる際の取り外しも楽。

最後は同軸ケーブルの引き回しについて、RG316は細いケーブル(白線)なので楽に引き回しできる。シート下を這わせながら、約30 cm毎に留め金で固定しフットスペースを経由してハンドル下にぶら下がっているリグに接続する。外部スピーカはポシェットの肩ひもに引っ掛けている。

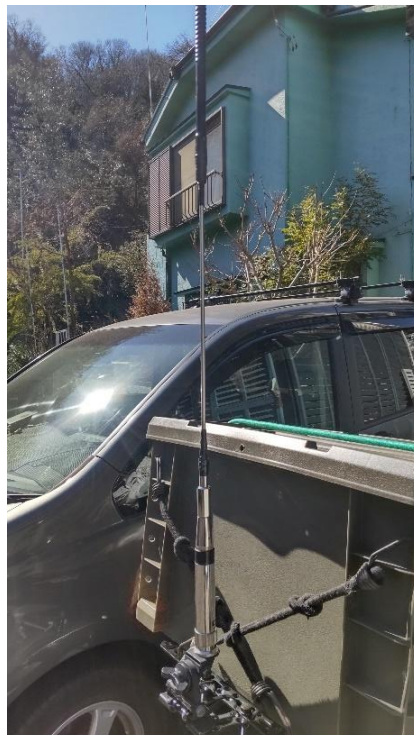
上記のように簡単に設置終了。リグを短時間で設置、取り外しできるので「ちょこっと移動運用」にも活用する予定。今回も雑駁な寄稿となりましたが、何かの参考になれば幸いです。Tnx!



アンテナ基台 (写真#1)



817 の設置 (写真#2)



$1/2\lambda$ 時 (写真#3)